

# TOTO

## クリーンドライ

### TYC600型 (高速埋込タイプ)

日本国内専用

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けください。  
取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

### 1 安全上のご注意 (安全のために必ずお守りください)

取り付け前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく取り付けてください。  
●この説明書では商品を安全に正しく取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

表示	意味
	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うことが想定される内容を示しています。
	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負うことが想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

警告	
	電源には漏電遮断器を取り付ける 故障や漏電の際に、感電の原因になります。
	アース(D種接地)工事がされていることを確認する アース工事がされていないと故障や漏電のとき、感電の原因になります。

注意	
	施工するときは手袋(軍手)を着用する けがの原因になります。
	商品は十分強度がある平らで垂直な壁面に確実に取り付ける 落下してけがをしたり、破損の原因になります。
	固定枠の固定を確実に 商品が外れてけがをしたり、破損の原因になります。

お願い	
	粉塵の多い場所に設置しない 故障の原因になります。
	塩害地域に設置しない 故障の原因になります。
	ご使用の際、手を激しく動かすなど手の乾かし方によっては細かい水滴が周囲に飛び散ることがありますので、壁材や床材には、耐水性のある材料をご使用ください。
	設置環境において周辺温度が低い場所で使用すると温風が冷たく感じることがあります。
	商品の構造上、温風温度にムラを感じる場合があります。

### 2 部品の確認および各部のなまえ

#### <クリーンドライ本体>

#### <本体内部>

#### <下から見た図>

#### <スイッチ部>

#### <付属品>

- ・取付金具(上) 1個
- ・取付金具(下) 1個
- ・取付ねじトラス小ねじ(M4×6) 2本
- ・取付ねじ(φ4.5×30) 6本
- ・取扱説明書(保証書付) 1部
- ・施工説明書 1部

### 3 施工方法 この施工方法は新設の場合を基準に作成しております。

#### 3-1 施工前の注意

	指定する電源(AC100V)以外では使用しない 火災の原因になります。
	電気工事は「電気設備に関する技術基準」、「内線規程」および施工説明書に従って、電気工事士の資格をもった方が行う 不確実な接続をすると、接続部が発火し火災の原因になります。
	電源には漏電遮断器を取り付ける 故障や漏電の際に、感電の原因になります。
	アース(D種接地)工事がされていることを確認する アース工事がされていないと故障や漏電のとき、感電の原因になります。

■定格以上の過電流遮断器を単独で設置し、指定の電源を印加してください。

TYC600型	
過電流遮断器	定格15A以上
電源	AC100V±10%
備考	200V印加すると商品(コントローラ)が故障する

#### 3-2 電源線の施工方法

##### 1 スイッチボックスの埋め込みと配線

- ・スイッチボックス(JIS C 8340)を壁面に埋め込み、電源線とアース線(いずれも600Vビニル絶縁電線、またはVVVFケーブルφ1.6またはφ2.0の単線)を配線します。
- ・スイッチボックスの取り付け位置は、「2 固定枠の位置決め」を参照してください。

#### 2 固定枠の位置決め

**お願い** □30×50の木枠使用の場合、壁の裏側にH610×W365×D135および、スイッチボックス埋め込み分の空間を確保してください。

・木枠(別売品、品番: TYC505型、内寸550×305、□30×50)を壁の下図の位置に固定します。

※本体への電源線引き込み位置(配線孔)は3カ所あります。イラストは、右側より引き込みの場合で説明しています。

**お願い** 埋込は壁仕上面から135mm以上確保してください。  
・本体および水受けトレイの着脱のため、商品上方20mm以内、下方30mm以内には障害物がないように空間を設けてください。

#### 3 取付金具の取り付け

・木枠の上辺および下辺の下図の位置をけがき、固定板用の下穴(φ3.5、深さ25以上)を開け、同梱の取付金具(上・下)をタッピンねじ(φ4.5×30)で止めます。

イラストは、右側より引き込みの場合で説明しています。

#### 4 電源線の引き込み

①クリーンドライの表面カバー・水受けトレイを取り外します。

**お願い** 防水シートは取り外さないでください。

#### 4 電源線の引き込み(つづき)

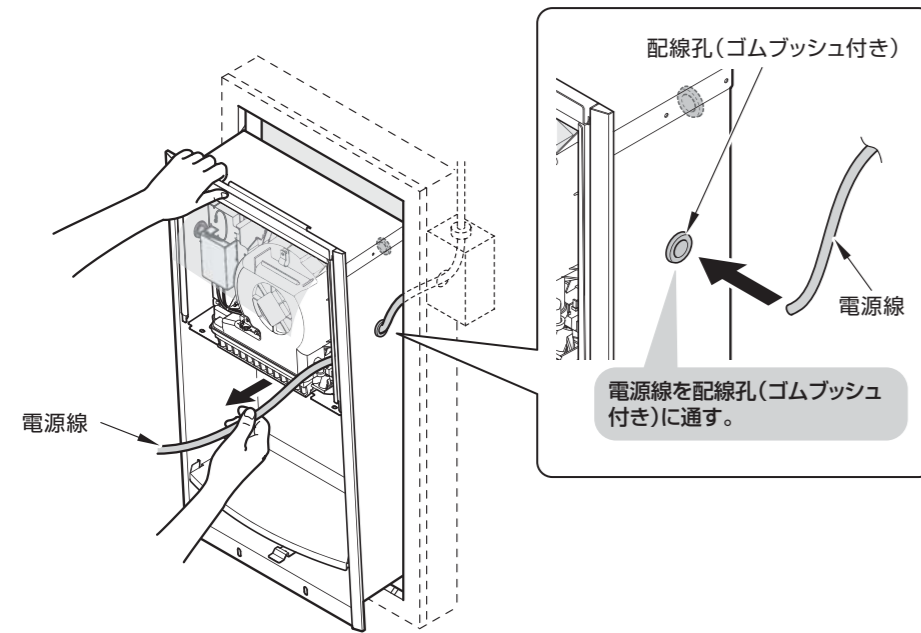


**警告** 電源線・電源プラグが破損するようなことはしない。傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重たいものを載せたり、束ねたり、挟み込んだり、加熱したりしないでください。傷んだまま使用すると、火災、感電の原因になります。

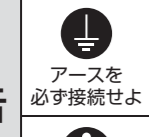
② 本体を開口の下辺部に仮置きし、電源線を右側面にある配線孔(ゴムブッシュ付き)に通します。

③ 電源線を引き込みます。

イラストは、右側より引き込みの場合で説明しています。



#### 5 電源線の接続



**警告** アースを必ず接続せよ。アース(D種接地)工事がされていることを確認する。アース工事がされていないと故障や漏電のとき、感電する原因になります。

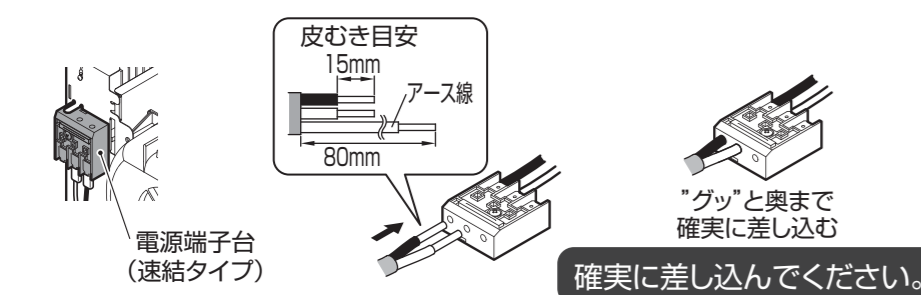


**必ず実行** 電源線は、先端をそろえ端子台に確実に差し込む。差し込みが不十分だと火災の原因になります。

・端子台カバーを外し、本体ケース内に引き込んだ電源線を電源端子台に接続します。

##### ●電源端子台への接続について

各々の芯線がまっすぐ15mm出ている状態に加工し、端子穴に芯線を“グツ”と奥まで確実に差し込んでください。



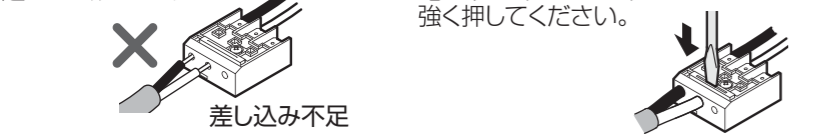
・電源線の芯線2本が端子台の手前で均一になるように加工してください。

・端子台の近くで大きく曲げると先端が十分に差し込まれない場合があります。

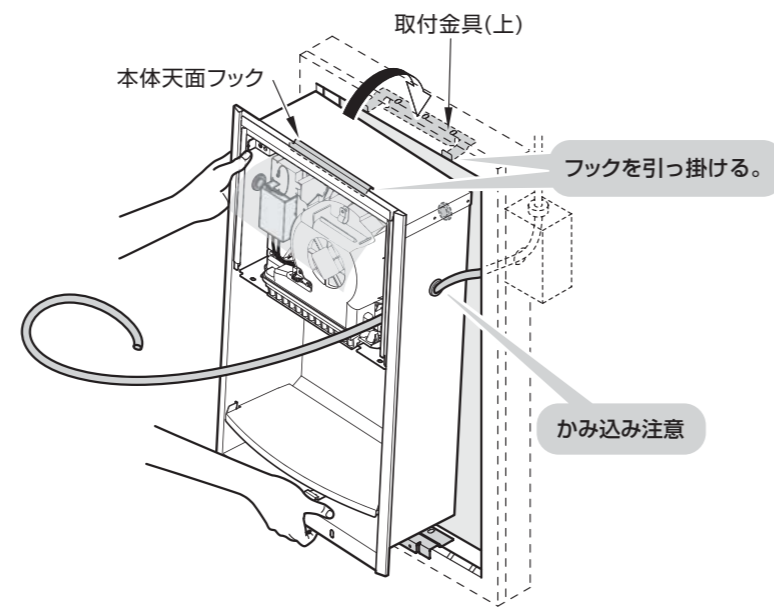


・端子台の芯線を奥までまっすぐ差し込んでください。

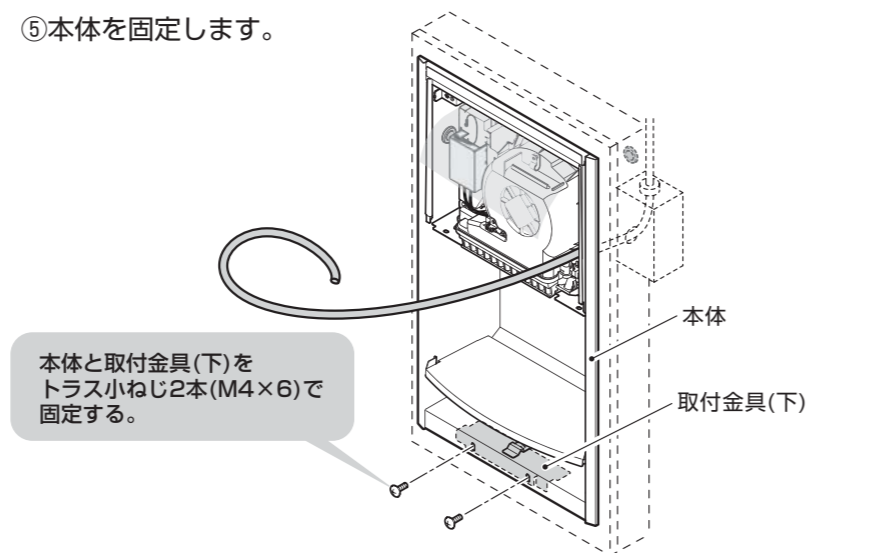
・電源線を外すときはここを電工ドライバーマイナスで強く押してください。



④ 本体を持ち上げながら、本体天面フックを取付金具(上)のフックに引っ掛けます。



⑤ 本体を固定します。



#### 5 電源線の接続(つづき)

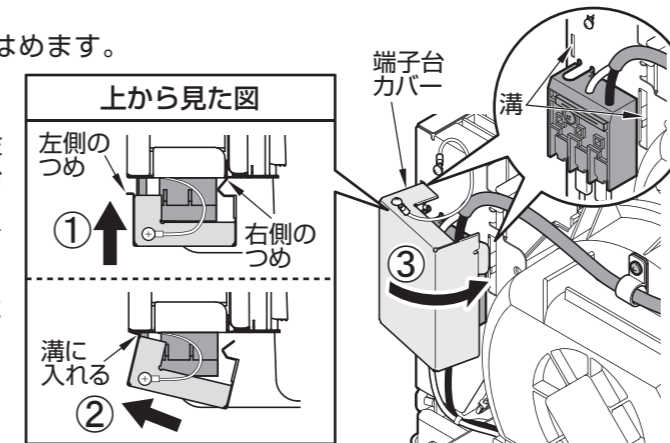
・端子台カバーをはめます。

① 端子台カバーの左右のつめが端子台にあたらぬようにかぶせてください。

② 左側のつめを溝に入れてください。

**お願い** 出来るだけ右側が浮かないよう溝に入れてください。

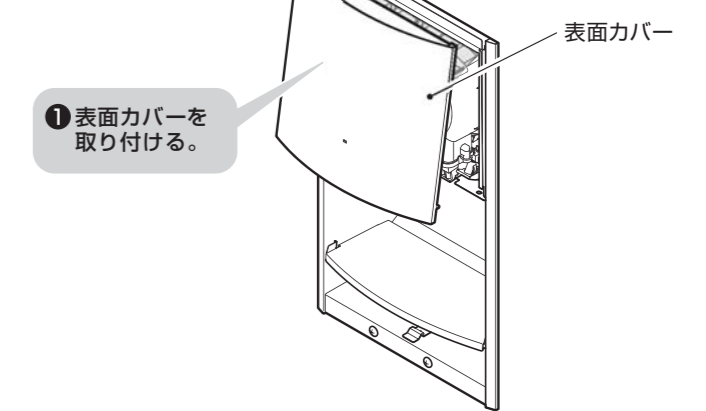
③ 左側がはまったら、右側のつめも溝に入れてください。



#### 6 表面カバー・水受けトレイの取り付け

・表面カバーと水受けトレイを取り付けます。

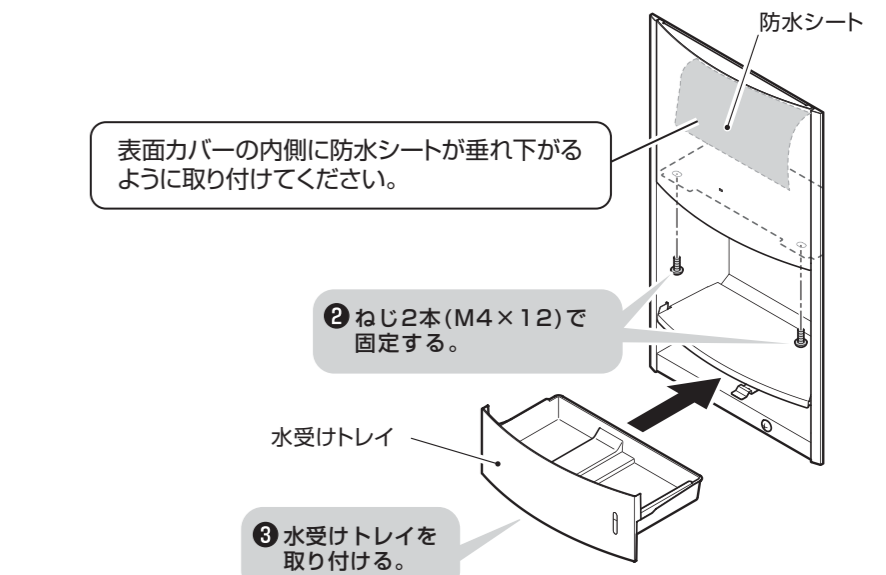
① 表面カバーを取り付ける。



表面カバーの内側に防水シートが垂れ下がるように取り付けてください。

② ねじ2本(M4×12)で固定する。

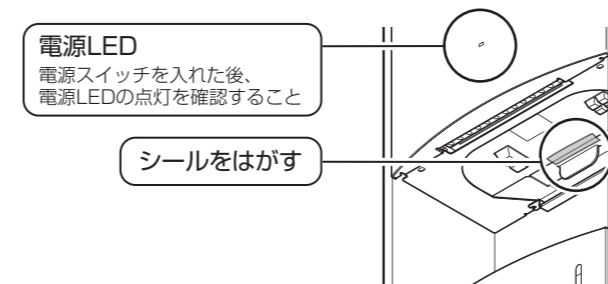
③ 水受けトレイを取り付ける。



#### 4 試運転

■取り付けが完了しましたら、以下の方法で試運転を行ってください。

・はじめに、フィルター部についているシールをはがしてください。(シールは輸送時のフィルター外れ防止のもので、破棄ください。)



##### 1.電源の投入

・屋内電源のブレーカーを「入」にしてください。

##### 2.電源スイッチの確認

・電源スイッチを入れてください。

**電源LEDが点灯しているか確認してください。**

##### 3.動作の確認

・吹き出しノズルの下に手を差し出し、風が吹き出すことを確認してください。

##### 4.風量切替スイッチ、ヒーター入切スイッチの確認

・風量切替スイッチおよびヒーター入切スイッチを操作し、モードが切替わっているか確認してください。

**お願い** 切替操作は、運転が完全に停止してから行ってください。

#### 試運転のあとは

■工事店様へ

試運転での動作確認が終了しましたら、付属の「取扱説明書(保証書付)」をお客様に渡し、商品の使いかたについて説明してください。